

# 漁場環境保全調査

## 江津・益田地先

岩本宗昭・日野佳明・井岡 久

漁場環境の悪化が予想される水域について、その現状を把握し汚染の進行を防止するため、定期的に調査を実施して資料の蓄積を図る。

### 実 施 概 要

調査定点：益田地先20点（図1）、江津地先20点（図2）

調査項目：水温、透明度、濁度、浮遊物質（SS）、pH、溶存酸素（DO）、COD、栄養塩類（ $\text{PO}_4\text{-P}$ 、 $\text{SiO}_2\text{-Si}$ 、 $\text{NH}_4\text{-N}$ ）

調査水槽：1、5、10 m および底層

調査日時：益田地先 昭和62年7月27日（下潮時）、江津地先 7月28日（上潮時）

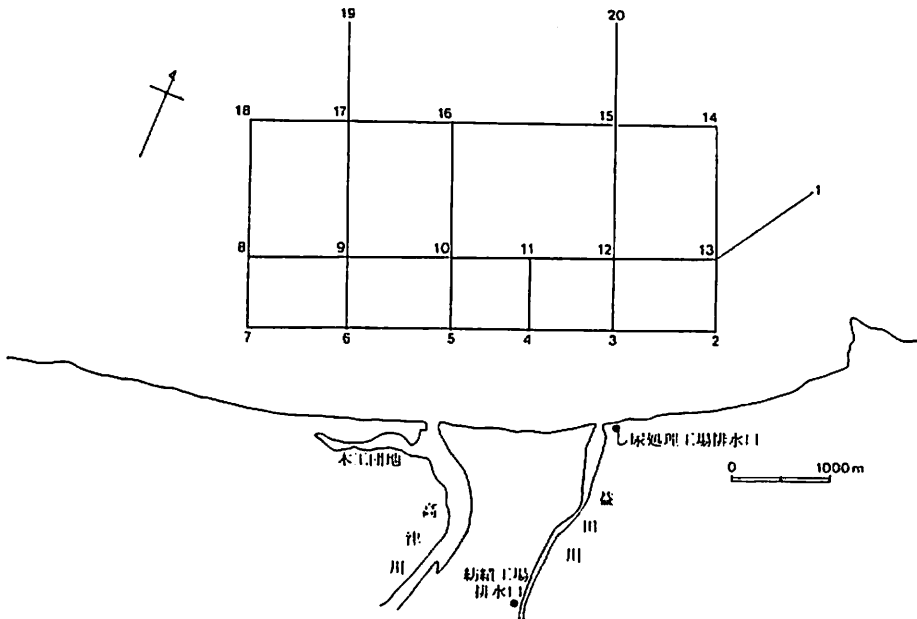


図1 益田地先調査定点配置図

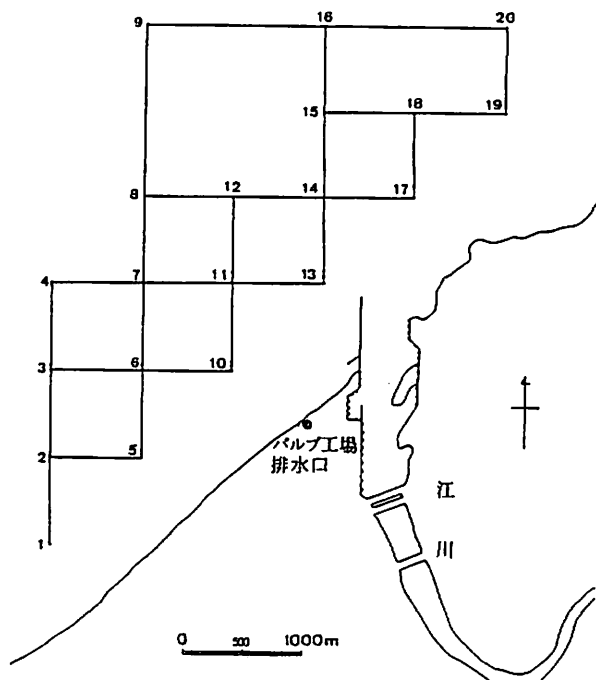


図2 江津地先調査定点配置図

## 調 査 結 果

各調査定点の水質分析結果は巻末の付表にまとめて示した。表1～2に主要項目について水層別にその最大・最小値および平均値を示す。なお、両地先ともその水質に大きな変化は認められず、いずれの水域も平常値を示した。

表1 益田地先の水質概要

水層 (m)	区 分	水温 (°C)	塩素量 (%)	浮遊物質 (ppm)	COD (ppm)	NH <sub>4</sub> -N ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )	PO <sub>4</sub> -P ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )	NO <sub>2</sub> -N +NO <sub>3</sub> -N ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )
1	最小値	25.5	13.875	0.5	0.37	1.33	0.00	0.00
	最大値	27.3	18.576	12.3	1.23	4.61	0.15	4.73
	平均値	26.2	17.782	3.7	0.77	2.08	0.09	0.74
5	最小値	24.4	18.010	0.3	0.21	0.95	0.00	0.14
	最大値	25.7	18.513	5.9	1.09	3.44	0.12	0.43
	平均値	25.1	18.322	3.4	0.59	1.59	0.06	0.23
10	最小値	24.2	18.366	0.3	0.29	0.41	0.00	0.14
	最大値	24.7	18.555	7.1	0.98	2.02	0.11	0.26
	平均値	24.4	18.467	3.9	0.63	1.07	0.05	0.20

表2 江津地先の水質概要

水層 (m)	区分	水温 (°C)	塩素量 (%)	浮遊物質 (ppm)	COD (ppm)	NH <sub>4</sub> -N ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )	PO <sub>4</sub> -P ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )	NO <sub>2</sub> -N +NO <sub>3</sub> -N ( $\mu\text{g-at}/\ell$ )
1	最小値	25.0	3.526	0.0	0.12	0.33	0.00	0.00
	最大値	26.2	18.303	7.8	1.34	1.79	0.33	18.91
	平均値	25.8	17.03	3.4	0.66	0.86	0.06	1.41
5	最小値	24.3	18.052	0.0	0.20	0.33	0.00	0.00
	最大値	26.0	18.534	7.1	1.12	2.73	0.11	0.31
	平均値	25.0	18.301	3.1	0.54	1.04	0.04	0.13
10	最小値	23.8	18.366	0.0	0.11	0.03	0.00	0.08
	最大値	24.7	18.681	5.6	0.98	2.69	0.11	0.39
	平均値	24.2	18.535	2.7	0.55	0.96	0.05	0.14